事業別報告

自動車・建設機械 業界向け事業

売上高 849億49百万円　営業利益 3億79百万円

2022年度実績

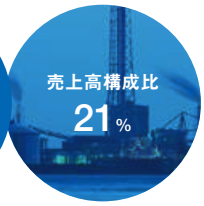
円安による押し上げ効果があったものの、原材料価格の高騰、電力料の値上げなどにより収益性が悪化し、前年比で増収減益

今後の見通し

自動車向け製品は、拡大が進む電気自動車向け製品の量産・拡販ならびに新規製品の開発を継続

更なるコストダウンの展開による損益分岐点の低下と適切な販売価格の見直しを進め、収益確保へ

一般産業機械 業界向け事業



売上高 337億61百万円　営業利益 36億19百万円

2022年度実績

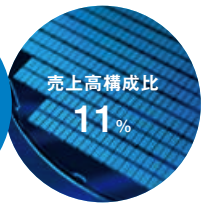
海外における顧客操業の回復に伴い増収増益

今後の見通し

世界的なエネルギー需要の増加に伴う設備投資再開により今後も堅調に推移する見通し

次世代エネルギー市場・既存設備の省力化・CO_2削減に貢献できる製品技術・サービスの提案を推進

半導体 業界向け事業



売上高 167億2百万円　営業利益 18億42百万円

2022年度実績

メモリを中心に半導体業界減速による投資延期等の影響を受ける一方、新規拡販により、増収増益

今後の見通し

5G、IoT、AIの実用化等、データ通信量は増加が進み、今後も半導体の需要が拡大していく見通し

引き続き生産拡大と各半導体製造装置メーカーへの拡販ならびに当社製品群を活かした新製品開発に注力

舶用 業界向け事業

売上高 135億53百万円　営業利益 33億26百万円

2022年度実績

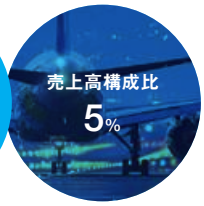
新造船市況の好調継続と欧州での修繕部品需要が増加したことにより、増収増益

今後の見通し

今期以降の既存納入品のアフターサービスは減少が見込まれる一方、世界のエネルギー需要増を背景としたLNG船等の新造船建造が増加、当社製品の新規販売に注力

中大型船向け水潤滑型シール装置等、環境貢献型製品の開発

航空宇宙 業界向け事業



売上高 84億13百万円　営業利益 91百万円

2022年度実績

主に航空機向けの販売増により、増収増益

今後の見通し

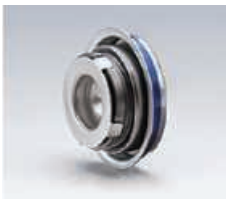
航空機向け製品は、民間航空機市場の回復により中長期的には当社製品の販売増見込み

宇宙開発向け製品は官民ともに宇宙開発プロジェクトが活発化の傾向

当社技術が貢献できる分野への拡販を推進

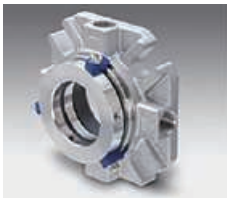
各事業セグメントの特徴

主要製品



自動車、二輪車、および建設機械に、製品、機器・メカトロニクス製品を提供しています。
各製品の生産はアジア、欧州をはじめとした世界の各地域に拠点を設立し、製品の安定供給を行っています。

主要製品



各種プラントに設置されるポンプ、コンプレッサー向けにメカニカルシール類を提供しています。2005年より、ドイツのブルグマン社との
事業提携契約に基づくアライアンス体制を構築し、イーグルブルグマンのブランドとして世界中で営業活動を展開しています。

主要製品

半導体製造装置に使用される磁性流体シール、ベローズ、ロータリージョイント、高機能Oリングを、世界中の半導体製造装置メーカーに
提供しています。半導体業界において各種シール製品を全て内製できる企業は、世界で当社グループのみです。

主要製品

主に船舶推進機構箇所であるプロペラスクリュー部分に設置されるシール装置の研究開発からメンテナンスまで、
一貫した生産サービス体制を提供しています。

主要製品

航空機やロケットをはじめとした、高温・高圧・高速回転、高真空、極低温など特殊環境下にも耐えうる
高品質な各種製品を提供しています。